

音無の賑わい：  
石神井川の旧流路を再整備して水量をコントロールした親水公園に



撮影：2015年8月（東京都北区・音無親水公園）

◆石神井川本川から取水し子供の水辺環境に

戦後の経済発展で石神井川は生活排水などによる汚れた川となっていましたが、昭和33年の狩野川台風の被害を契機に、石神井川の大改修を行い、飛鳥山を抜けるトンネル水路が造られました。コンクリートアーチ橋の音無橋の下を流れる旧水路は親水水路として蘇りました。

◆花見の名所と王子料理屋

八代将軍吉宗が飛鳥山に桜の木を植えて花見を楽しんだことは有名ですが、明治になって飛鳥山や石神井川は人気があり、王子の料理屋にも多くの外国人が訪れたようで、「江戸名所図会」にも描かれています。現在、子どもたちの遊ぶ親水水路はろ過器による循環水を使用しています。

岡村幸二（JRRN会員）